

例会報告

第2585回例会報告議事録

日時 令和元年9月10日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：寺嶋パストガバナー

ビジター：なし

S.A.A.: 柳田会員

会長挨拶

木村会長



本日は寺嶋パストガバナーをお迎えしまして「ロータリーとは」という事で卓話をして頂ます。

当クラブは私も入会して6、7年ですが、私より後に入会された方も多いため、非常にためになるのではないかと楽しみにさせていただいています。

日曜日の夜中に台風が突然襲ってきました。甘く見ていたのですが、夜中目覚めたら大変なことになっていました。一つの教室は吹き込みで中が浸水しましたが、それくらいの被害で済みました。

危機管理をしているつもりでしたが、昨日はヘマをしてしまいました。成田線が走っていませんと、社員から電話がかかってきたのですが、タクシーで来てよと伝えました。成田は陸の孤島になっていることを知らず、タクシーを4時間待たせて、結局、夜になり、帰りの電車もないからと帰りました。もう少しうまく対応ができなかったかと非常に反省はしています。次の課題なのかなと感じています。

先週の理事会の報告です。

クラブ予算について、社会奉仕活動の一環の婚活パーティーですが、部数が確定しました。会員増強のための冊子を作りたいとのことで予算に組み込みました。

財団補助金を17万円を今回いただいて、うちの17万円と合わせて34万で、水の館のところに地図を作る予定です。

私の次の会長は村越会長エレクトで決まっていますが、その次のノミニーを依田会員が受けていただくことが決定しました。

柳田 S.A.A. より

本日、隣の会議室を使っているのですが、1時までしかマイクが使えないそうです。

親睦委員会報告

倉持委員長



先週お休みされていた、9月が誕生月の方のお祝いをしたいと思います。

佐藤雅教会員、おめでとうございます。

今回の親睦事業は10月30日(水)の昼間に親睦ゴルフ、夜は湖北のポアロさんにて夜間例会です。ゴルフは小池さんのご協力をいただきまして藤ヶ谷カントリークラブで、5組押さえてあります。昼、夜共にご家族でのご参加も可能です。

佐藤雅教会員より

どうもありがとうございます。81回目の誕生日をあさっての12日に迎えることになりました。

この間、第1回の脳梗塞で倒れて、毎年、正月に3人の息子が、私があと何年生きられるか一年間の検査の結果を出してくれ、とそれを肴に酒を飲みます。なかなか結論が出ません。

4、5年前に倒れてから、年々、病名が増えています。最近は大動脈弁狭窄症がひとつ増え、合計8つ今あります。おやじは一体何の病気で死ぬんだと、無責任な話をします。

糖尿病もありますし、腎臓の方も悪くなっていますので、じわじわと人工透析に向かって進んでいます。主治医にあと持って5年と言われています。人工透析をやらないうで、もう少し早く逝った方がいいかなと最近では思っています。

死んだ後の準備もそろそろしないといけないと思って、終活をやっている次第です。もう少し皆さんといたいですから頑張ります。

皆さんにお詫びしないといけないのは、夜の集まりに出られないことです。大変申し訳ないと思っています。

内輪の話になりますが、うちの家内が2年くらい前から認知症が出てきました。幻覚型で、朝から晩まで我々には見えないものが見える訳です。私もだいぶ疲れました。夜は夜で2時でも3時でも、台所にこういう人がいるから見てきてと起こされます。毎日当直をやっているような気分です。その分、昼間しょうがないから寝ているわけです。

そういう事情がありますので、出られる範囲で出たいとは思いますが、ご了承願いたいと思っています。

ありがとうございました。

出席委員会報告

堤委員長

23名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率71.87%

業務による欠席が9名。

業務の為：上村会員、古谷野会員、佐藤(拓)会員、寺井会員、服部会員、福武会員、前田会員、湯下会員

会員増強委員会報告

米田委員長

先週もお話ししましたが、会員になってほしいリストがまだ2名しか届いていません。1名で構いませんので、よろしく願いいたします。

社会奉仕委員会報告

依田委員長

婚活パーティーのちらしができました。11月9日(土)に向けて婚活事業を進めたいと思います。皆さん、ぜひ素敵な人をご紹介します。

幹事報告

藤本幹事

先週は途中で退席しまして失礼しました。本日は幹事報告は特にはございません。

卓話「ロータリーとは」

寺嶋パストガバナー



柏ロータリークラブの寺嶋でございます。今日はお招きいただきまして、ありがとうございます。

一昨年度、私がガバナーなどをお引き受けさせていただいて、皆様には大変なご迷惑をおかけしまして、心よりお詫び申し上げ、同時に感謝申し上げます。

婚活パーティーですが、準備段階でご案内いただきまして、独身の息子と娘がおりましたので是非出させていただきますと申し上げたにもかかわらず、二人とも参加しませんでした。密かに相手がいたらしく、今年3月に息子が入籍をして、7月に娘が入籍して、今、家内と二人暮らしになりました。今週の土曜日、9月14日に柏のクレストで披露宴を挙げます。私はその日が誕生日で還暦になります。

どこまで有意義な話ができるかどうか自信はないのですが、ロータリーの変遷、目指すべきところは何なのか、そんな話をさせていただければと思います。入会后間もない方もいらっしゃると思うので、丁寧に話しさせていただきますと思います。

手続き要覧というものがあります。ロータリーの組織規定が載っているものです。

世界中から500何人かが集まり、決まり事を審議して3年に一度改定します。今年2019年にはその規定審議会が開かれます。日本からは山田パストガバナーが参加されます。

最新版の2016年の手続き要覧の7ページに五大奉仕部門というものが載っています。「ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実質的な規準である」と書いてあります。

五大奉仕とはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五つです。

その二つ目、職業奉仕ですが、「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。(次ページへ続く)

会員の役割には、

- ①ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、
 - ②そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」
- と書いてあります。

日本のロータリークラブの伝統的な会員たちは①の職業奉仕という概念を非常に大切に考えている方がたくさんいます。

②の方は世界の職業奉仕観だと思います。

今年の4月に開かれました諸岡ガバナーエレクト主催の地区研修協議会というのがありました。

ガバナーエレクトの後半半年、2月から4月位にかけて3つのセミナーを開くことが義務づけられています。三大セミナーと言います。チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)と地区研修協議会です。

この2790地区では地区研修協議会の時に、過去一年間の各クラブの奉仕活動を評価して、奉仕活動優秀クラブというのを表彰するのが習慣になっています。

諸岡ガバナー年度における職業奉仕活動優秀クラブとして茂原ロータリークラブが表彰されています。茂原ロータリークラブは、地区内において2002年に出前教室を最初に実施したクラブで、毎年度開催しています。

一方、社会奉仕活動優秀クラブというのが2つ選ばれていて、その内のひとつとして松戸東ロータリークラブが選ばれています。地元の特別支援学校で出前教室、職場体験を実施しました。松戸東ロータリークラブは伝統的な日本のロータリー観を色濃く継承しているため、出前教室は職業奉仕ではないという価値観である、ということが、この表彰に表れていると思います。

松戸市だけで一つのグループを形成していて、そこには5つのロータリークラブがありますが、その内の4つはまだ女性会員の入会を認めていません。松戸中央クラブだけが女性会員を認めています。30年くらい前までは女性会員が認められていませんでした。

平成30年度、私のガバナー年度ですが、前橋RCの本田パストガバナーが2017年のロータリーの友の1月号に「職業奉仕はロータリーの根幹か」というタイトルの論文を掲載されていて、そのお話を聞きたくて、当時の第10分区のIMの時にお呼びしました。

日本の伝統的な職業奉仕観「自分自身を律し、事業を行うこと」は世界では職業倫理と認識されていて、職業奉仕と言えば、具体的なプロジェクトをイメージすることが多いので、これからは日本のロータリーは、今までの職業奉仕観を職業倫理と呼んだらいいじゃないか、と本田ガバナーは提案されました。

旧来の日本のロータリー観をガラパゴス化したロータリーと本田ガバナーは呼ばれ、そのガラパゴス化という言葉にかなり猛烈に反発した伝統的な日本のロータリアンはたくさんいたそうです。これは価値観の多様性だと思います。

職業倫理、職業奉仕、という用語、これは定義の問題ですから、明確に受け入れていいのかなと思います。

10月15日に上村ガバナー補佐に言われて、第11グループの情報研修会で1時間お話しする予定です。今日は、こういうことを話すとどれくらい時間がかかるのかな、と試しに話してみましたが、案外時間がかかりました。

ロータリーは1905年にポール・ハリス以下4人が集まって第1回例会が開かれました。その後、ポール・ハリスが日本に一度だけ日本にやってきたことがあります。その時に「あなたはなぜロータリーを作ったんですか?」と聞いたところ「さみしかったから」と答えたという有名なエピソードがあります。

ポール・ハリスは生まれ育った所と弁護士として仕事を始めたシカゴという街は全く別物で、シカゴには親戚も幼なじみもいませんでした。信頼出来るコミュニティがほしかったというのは、よくわかります。私たちが求めているのも正にそれだと思います。

彼は信頼できるコミュニティを作るひとつの方法として職業を選びました。

当時のシカゴは、今で言う企業コンプライアンスや顧客満足度だとか、そういう今の経営理念のようなものが浸透していない時代でしたので、劣悪な商品、劣悪なサービスを法外な値段で掴まされたとしても、だまされた方が悪い、というような考えでした。それはよろしくない、せめて会員同士は誠実に、真っ当なサービスをし合おうじゃないかということ念頭においてロータリーを作りました。

1業種1人というのは、その業界で最も信頼できる人だけを会員にしようじゃないか、という原則の始まりです。

1905年に4人が集まって第1回の例会があり、1906年に最初の定款ができました。相互扶助と親睦、の2つだけが最初の綱領でした。

1907年にある人を勧誘したところ、会員だけの利益を追求するようなクラブはたぶん長続きしない、社会にも貢献できるような事業を目的としたクラブでないとならば長続きしない、という助言をされ、それをポール・ハリスが採用して、第3の綱領、社会奉仕という概念が導入されました。

それから1910年頃までに、会員同士でだけ商売をしているロータリーは閉鎖的であるという批判があり、それを改め、職業倫理の萌芽となりました。

1915年に、全分野の職業人のためのロータリー倫理訓、道徳律が採択されました。

これを今、読んでいない時間はないので、ぜひお目通しいただきたいのですが、この11か条からなるロータリーの倫理訓というのは、ロータリーにとっていろいろな歴史的な文書がありますが、私はこれが一番好きです。これを決議したロータリーというのは、だから素晴らしいと思います。

まずロータリーは親睦から始まり、その次に社会奉仕という概念が加わり、その後に職業倫理という概念が確立していきました。ですから、ロータリーにとって大切なのは、親睦と職業倫理、そして人道的奉仕という3つの概念だと思います。

すみません、もう少しゆっくりお話し出来たら全然時間が足りませんでした。10月15日にもう一回お話しさせていただきますので、その時には、もう少し修正してお話ししたいと思います。どうもありがとうございました。

閉会の言葉

木村会長

寺嶋パストガバナー、本日はありがとうございました。もっと時間をたっぷりご用意すればよかったのですが、10月15日の情報研修会の時にたっぷり聞かせていただきたいと思います。

寺嶋パストガバナーのご子息とは少なからずご縁がございまして、お二人共ご婚礼が決まったとのことで大変嬉しく思います。年齢も私と同じで還暦でいらっしゃる、非常に親近感がありました。本日はありがとうございました。

点鐘します。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
寺嶋 パストガバナー		5,000円
木村会長	寺嶋パストガバナー様 本日は卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本幹事	卓話ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	寺嶋パストガバナー 研修ありがとうございました。	1,000円
小野会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
小池会員	寺嶋パストガバナー 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤雅教会員	台風一過！とにかく暑い	1,000円
鈴木会員	寺嶋P G ありがとうございました。	1,000円
瀧日会員	貴重な卓話をありがとうございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	寺嶋パストガバナー ありがとうございました。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
	当日計	16,000円
	今期累計	112,192円

今週の表紙「古木庵 タニヤ」千葉県我孫子市湖北台1丁目16番地3号

湖北駅から歩いて2分の場所にある蕎麦・うどん屋さんです。座敷の座卓席もあるので、小さなお子さんがいても安心してゆっくり食べられます。
カレーうどん、天せいろがおすすめです。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。